

平成24年8月1日

久渡古墳群から出土した画文帯環状乳神獣鏡について

上牧町教育委員会

調査地	奈良県北葛城郡上牧町大字上牧字久渡83番1
調査原因	第1次調査（試掘調査）：宅地開発 第2次調査（補足調査）：上牧町事業
調査期間	第1次調査：平成23年11月7日～3月21日 第2次調査：平成24年5月28日～7月31日
調査面積	第1次調査：346㎡、第2次調査：65㎡
主な遺構	久渡1号墳の周溝及び久渡3～4号墳の墳形・墳丘及び埋葬施設を確認。
主な遺物	画文帯環状乳神獣鏡1面、土師器、須恵器、鉄槍2点、鉄鏃3点、刀子1点、白玉5点、サヌカイト剥片

要旨

久渡古墳群は、標高約70m前後の丘陵上に位置します。今回までの調査で、7基の多彩な内容を持つ古墳からなる古墳群を確認しました。

久渡3号墳は丘陵北側に所在する古墳時代前期初頭の古墳で、画文帯環状乳神獣鏡・鉄槍・鉄鏃等が出土しました。今回出土した画文帯環状乳神獣鏡は後漢時代に中国で製作された鏡です。近年の発掘調査で鏡片を除くと中国製の画文帯神獣鏡としては、奈良県内でホケノ山古墳以来12年ぶりの出土となります。また、この鏡は、橿原考古学研究所の分析により、大阪府和泉黄金塚古墳の東側埋葬施設から出土した鏡と「同型鏡」であることが判明しました。

従来、古墳時代前期初頭の古墳は、奈良盆地東南部に集中して築造され、奈良盆地内の他の地域にはほとんど存在しないことが指摘されてきました。今回、久渡3号墳が盆地北西部の空白地域で発見されたことは、古墳時代の初めにおける初期ヤマト政権の構造を考える上で重要な手がかりを提供するものといえます。

1. はじめに

(1) 位置と環境

上牧町は奈良県北西部を占める奈良盆地の西部に位置します。青垣山に囲まれた平らな盆地の西よりに低く起伏する丘からなる馬見丘陵がありますが、本町はその西側を占めています。本町の西北部は王寺町と接し、西より南は香芝市、東よりは広陵町・河合町と接しています。久渡古墳群は上牧町西南端部で、西に葛下川を望む平坦地に位置します。

久渡古墳群のある北側丘陵には弥生時代中期前半の上牧銅鐸出土伝承地があります。

古墳時代前期初頭の奈良県東南部では、大型の前方後円墳が造られる中、類例が少ない馬見丘陵の遺跡としては、広陵町黒石10号墳が挙げられます。この古墳は一辺10.4mの方墳に陸橋が付きます。古墳時代前期後半の古墳は広陵町^{しんやま}新山古墳、河合町^{きみたち}佐味田宝塚古墳などがあります。新山古墳は前方後方墳で全長137m、佐味田宝塚古墳は前方後円墳で全長111.5mを測ります。

(2) 経緯

平成23年5月24日、開発業者から久渡古墳（久渡1号墳）が所在する丘陵全体の宅地開発計画が上牧町教育委員会に提出されました。

この話を受けて5月30・31日に上牧町教育委員会、奈良県教育委員会、橿原考古学研究所で現地踏査を行った結果、久渡古墳の他に、丘陵南側で、2号墳を新たに確認しました。その後、橿原考古学研究所により久渡古墳群が所在する丘陵全体の航空測量調査が実施されました。その結果、1号墳は全長約60mの東向きの前方後円墳である可能性が高くなりました。また、2号墳は墳丘の背後に東西30m、高さ3mの背面カットを有する直径約16mの円墳であることが判明しました。墳丘の中央には盗掘坑があり、凝灰岩片も採取されたことから、終末期古墳とみられます。

平成23年7～10月にかけて奈良県教育委員会と連携して上牧町教育委員会と開発業者で協議を行いました。その中で丘陵南側である久渡1・2号墳は保存すべき地区、北側は開発を前提に開発業者の費用で上牧町教育委員会による試掘調査を実施することとなりました。

平成23年11月7日から平成24年3月21日まで上牧町教育委員会が丘陵北側の第1次調査を行った結果、北側にも古墳が存在することを確認しました。開発地にも古墳がみられることから、上牧町教育委員会が開発業者と協議を行った結果、北側も土地所有者の協力により開発を凍結することになりました。

平成24年度は、町内遺跡発掘調査等の国庫補助事業を活用した第2次調査（久渡3・4号墳）を5月28日から7月31日まで実施しました。

2. 調査の概要

平成23年度と平成24年度に北側の調査を行い、久渡1号墳の周溝と久渡3～5号墳

の3基を新たに確認しました。

久渡4号墳は直径約18mの円墳で、久渡3号墳の墳丘を一部削平して築造されています。埋葬施設は木棺直葬で、1基を検出しました。この施設から須恵器6点と白玉5点が出土しました。古墳の築造時期は古墳時代後期と考えられます。

久渡3号墳は、古墳時代前期初頭の古墳で、久渡4号墳に埋葬施設と区画溝及び墳丘を一部壊されています。区画溝幅は最大部分で約5.20m、現況の深さは約0.60mです。墳丘は1辺15m前後の方形を基調とした古墳と考えられます。埋葬施設は木棺直葬で、3基を検出しました。画文帯環状乳神獸鏡（1面）、鉄槍（2点）、鉄鏃（3点）、土師器の甕片と壺が出土しました。

・画文帯環状乳神獸鏡

画文帯環状乳神獸鏡は、内区に環状の乳が8つ配され、4匹の神獸の肩と腰に置かれます。それぞれの神獸に対応して、伯牙、東王父、西王母、黄帝など神仙像が配置されています。外区の画文帯は、時計周りの図像が配置されています。それは、下方に配された雲車とそれを曳く6匹の龍を中心に走獸、飛禽、亀とともに騎仙が続き、その中に神仙が円形の像を捧げている像が二つ、ほぼ対角の位置に描かれており、この図像は中国の日月の運行を表現しているものといわれています。

古墳時代前期の遺跡から画文帯環状乳神獸鏡が出土している破片も含めた完形鏡は、全国では29面出土しており、今回の出土では30例目、奈良県内では8例目にあたります。奈良県内の鏡は奈良市衛門戸丸塚古墳の粘土槨から出土した1面、天理市大和天神山古墳の竪穴式石室から出土した2面、桜井市茶臼山古墳から出土した1面、広陵町新山古墳の竪穴式石室から出土した2面、伝北和城南古墳の1面です。そのうち、古墳時代前期前半の古墳は茶臼山古墳と大和天神山古墳です。

今回出土した銅鏡の大きさは直径約14.2cm、重量は511.43gです。銅鏡の文様は精緻で、遺存状況が非常に良好です。半円方形帯には6mm角の方形が12個あり、一個につき四文字ずつ、計48文字の銘文を確認しました。銘文は以下のとおりです。

吾作明竟 幽凍三商 周刻無□ 配像萬疆 白牙□樂 衆神□□ 天禽四守 衛持維□
(社) (學) (見容) (綱)
□從富貴 安樂子孫 番昌大吉 其師命長
(是)

※□：判読不能文字あり、報告時に一部修正の可能性あります。

銅鏡は橿原考古学研究所の分析により、大阪府和泉黄金塚古墳のものと「同型鏡」と判明しました。和泉黄金塚古墳は古墳時代前期末～中期初めの前方後円墳で、全長は約94mあります。埋葬施設は後円部に3ヶ所確認され、中央の埋葬施設からは景初三年（239

年)の紀年銘がある画文帯同向式神獸鏡が出土しました。今回「同型鏡」と判断された鏡は東側の埋葬施設から出土した鏡です。

3. まとめ

今回の調査で次のことが判明しました。

(A) 久渡3号墳は、画文帯環状乳神獸鏡・鉄槍・鉄鏃という中国鏡と鉄製武器の副葬品を有する古墳時代前期初頭の古墳と判明しました。従来、こうした古墳時代前期初頭の古墳は、奈良盆地東南部に集中して築造され、奈良盆地内の他の地域にはほとんど存在しないことが想定されてきました。今回、小規模な古墳とはいいながら、久渡3号墳が盆地北西部の空白地域で銅鏡が発見された古墳であることから、古墳時代の初めにおける初期ヤマト政権の構造を考える上で重要な手がかりを提供するものといえます。

また、古墳時代前期全体を見渡しても、馬見丘陵周辺を中心とする北葛城地域では、広陵町黒石10号墳(前期初頭)のような副葬品を持たない小規模古墳の存在は断片的に知られていましたが、新山古墳(前期後半)、佐味田宝塚古墳(前期末)の出現以前の様相はほとんど不明でした。久渡3号墳の発見は、前期初頭の古墳の空白域を埋める資料となりました。

(B) 3号墳の画文帯環状乳神獸鏡は、近年の奈良県内における発掘調査で出土した鏡片を除く中国製の画文帯神獸鏡としては、桜井市ホケノ山古墳以来12年ぶりの出土となります(第4表)。文様は精緻で遺存状況が非常に良好な優品です。

(C) 今回調査した3号墳は前期初頭に遡る一辺15m前後の方形を基調とした古墳、4号墳は後期の直径18mの円墳と判明しました。久渡古墳群にはこの他に全長60mの前方後円墳である1号墳、大規模な背面カットを持つ終末期古墳とみられる2号墳、内容がまだよくわかっていない5～7号墳があります。このように一つの小さな丘陵上に、古墳時代前期初頭から終末期に至る各時期の多様な古墳が存在することは非常に珍しいことと言えます。

このような多彩な内容を持つ久渡古墳群の実態を解明していくことが今後の課題と言えます。

4. 今後について

久渡5号墳に関しては、土層断面図の記録を行った後、壁面の崩落を防止するため、土嚢^{どろう}を積み、シートで養生をしています。今後、平成24年度の下半期に国庫補助事業による調査を行い、内容を明らかにしていく予定です。

久渡1号墳、2号墳については、平成25年度～26年度の2年間で、範囲確認調査を行い、内容を明らかにする予定です。

上牧町としては、これらの調査成果を踏まえ、古墳群全体の国指定史跡化を目指します。

第1表 久渡古墳群の墳形と規模

古墳名	墳形	規模	備考
久渡1号墳	前方後円墳	全長約60m	埋葬施設に盗掘坑あり。
久渡2号墳	円墳	直径約16m	北側斜面を背面カット 埋葬施設に盗掘坑あり。
久渡3号墳	方形を基調とする古墳 (方墳かまたは前方後方墳)	一辺15m前後	4号墳造成時に一部削平を受ける
久渡4号墳	円墳	直径約18m	
久渡5号墳	方墳	一辺20m	
久渡6号墳	円墳	直径約12m	
久渡7号墳	円墳	直径約18m	

第2表 久渡3・4号墳群埋葬施設の規模 (木棺長については未掘削があるため推定)

古墳名	墓壙(長)	墓壙(幅)	棺の形態	木棺(長)	木棺(幅)	埋葬頭位	遺物
3号墳第1埋葬施設	5.40m	1.50m	組合式木棺	(4.34m)	0.60m	東	画文帯環状 乳神獸鏡、鉄 槍、鉄鏃、土 師器
3号墳第2埋葬施設	2.50m	0.95m	組合式木棺	(2.10m)	0.60m	東	—
3号墳第3埋葬施設	4.96m	1.60m	組合式木棺	(3.60m)	0.60m	東	鉄器片
4号墳	8.25m	5.0m	割竹式木棺	(3.50m)	0.62m	東	須恵器、鉄器 片、白玉

第3表 奈良県内における画文帯環状乳神獸鏡出土地

古墳名	埋葬施設	枚数	古墳の時期
衛門戸丸塚古墳(奈良市)	粘土槨	1面	前期後半
大和天神山古墳(天理市)	竪穴式石室	2面	前期前半
桜井茶白山古墳(桜井市)	竪穴式石室	1面※	前期前半
新山古墳(広陵町)	竪穴式石室	2面	前期後半
伝北和城南古墳(奈良市北部ないし 京都南部)		1面	

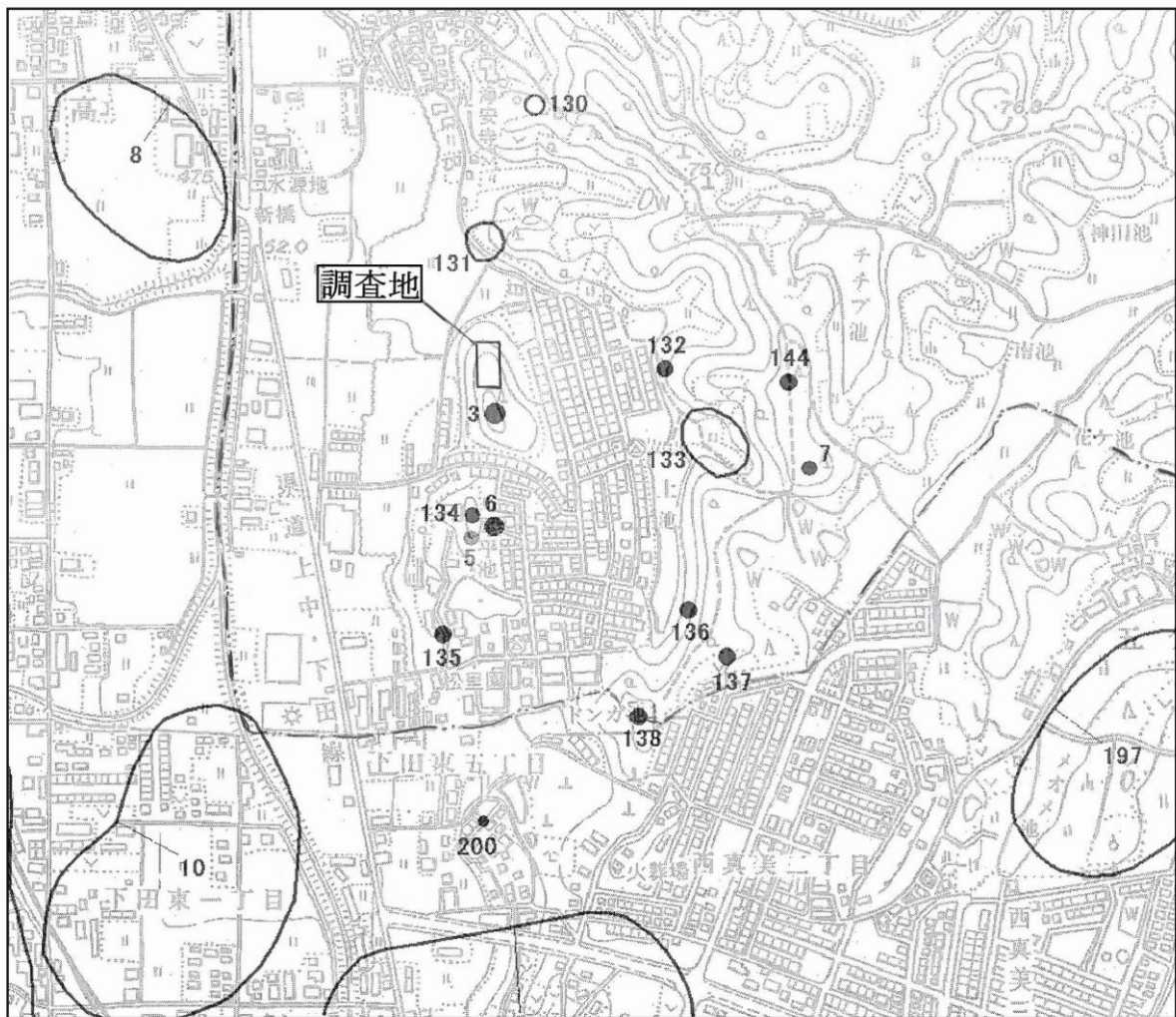
※2010年、桜井茶白山古墳の調査において鏡の破片が多く出土したが、画文帯環状乳神獸鏡の詳細については未発表である。

第4表 奈良県内における銅鏡出土事例（破片を除く）

年度	古墳名	製作地別	鏡種類	古墳の時期
平成 11・12	ホケノ山古墳（桜井市）	中国鏡	画文帯同向式神獸鏡	前期
平成 13	古市場古宮谷 1 号墳（宇陀市）	倭鏡	仿製画文帯神獸鏡	前期～中期
平成 14	赤尾熊ヶ谷古墳群 2 号墳（桜井市）	倭鏡	仿製内行花文鏡 2 面	前期
平成 16	薩摩 5 号墳（高取町）	倭鏡	仿製鏡	中期
平成 18	薩摩 11 号墳（高取町）	倭鏡	方格規矩鏡	中期
		倭鏡	珠文鏡	
平成 24	久渡 3 号墳（上牧町）	中国鏡	画文帯環状乳神獸鏡	前期



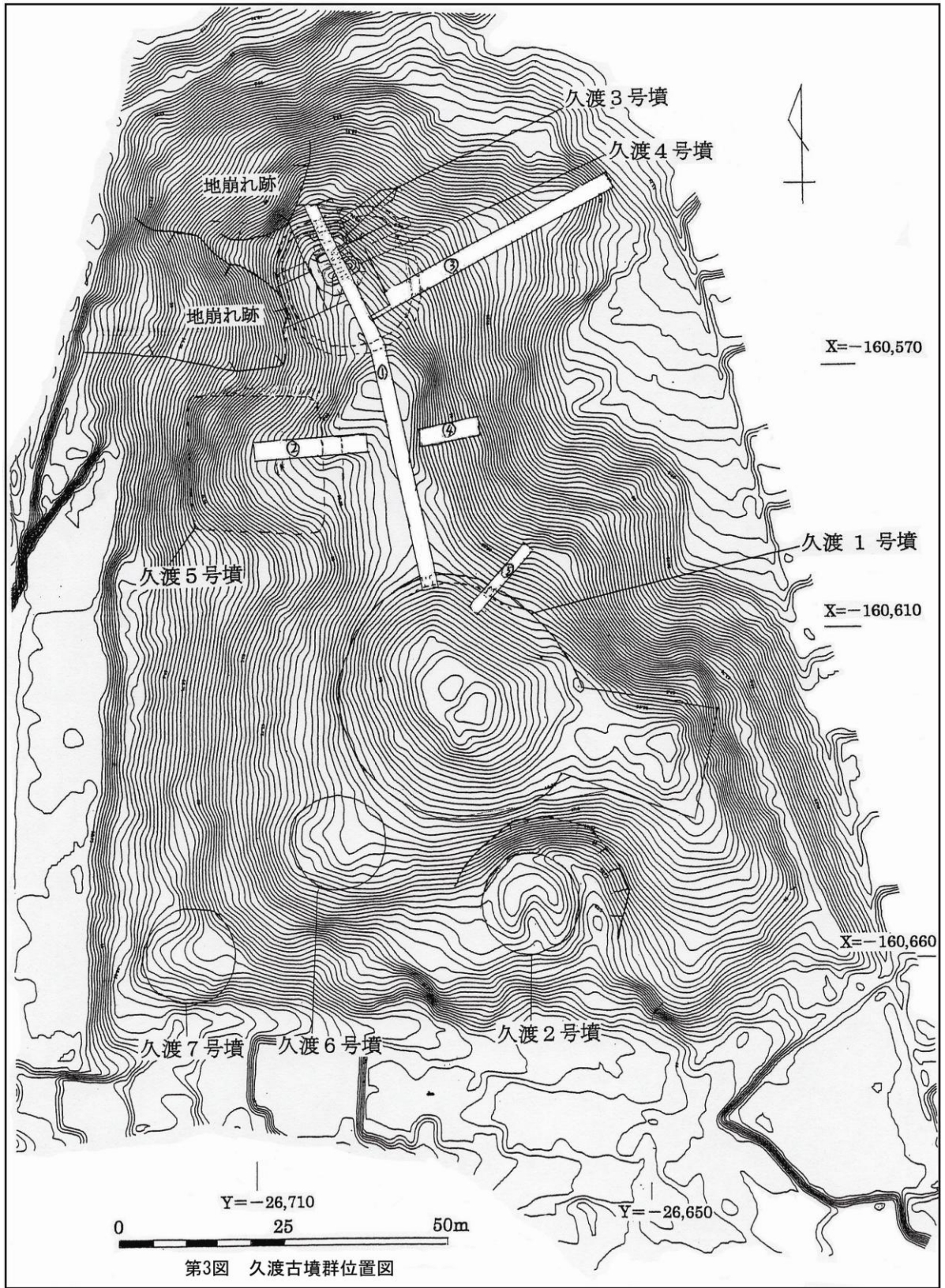
第1図 久渡古墳群調査地及び周辺位置図

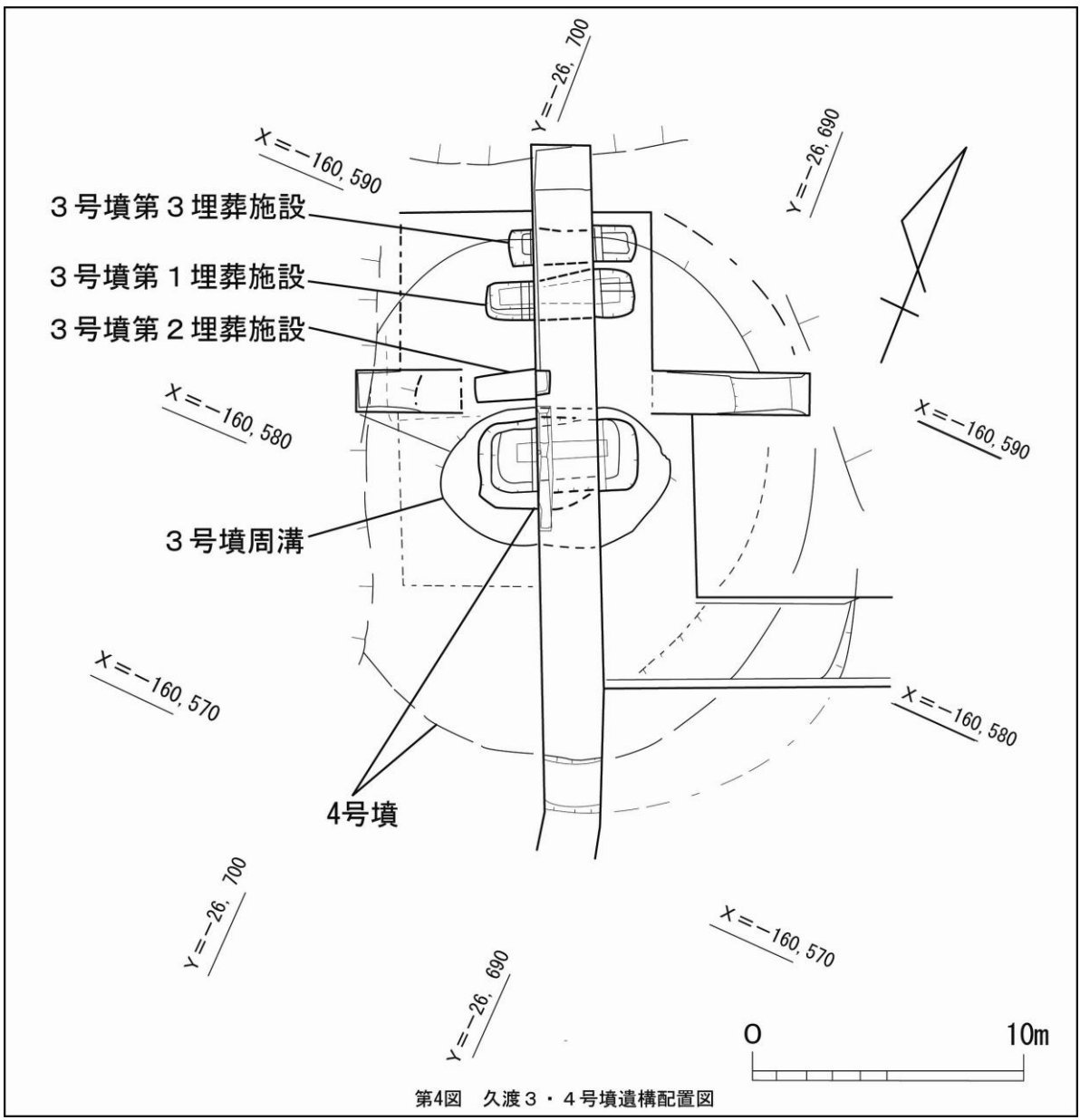


番号	遺跡名	所在地	種類・詳細	時代詳細	遺跡概要	遺物	備考
3	久渡1号墳	上牧	古墳	古墳	前方後円墳・全長約60m		
5	松里園第3号墳	松里園1丁目	古墳	古墳・後期?	円墳・直径15m	須恵器、袋形土器	
6	松里園第2号墳	松里園1丁目	古墳	古墳・後期	円墳・直径18m、組合式石棺、消滅	須恵器、埴輪	
7	チチブ第3号墳	上牧	古墳	古墳	円墳・直径10m		
130	浄安寺裏山古墳	上牧	古墳	古墳	伝鉄刀、朱		
131	観音山銅鐸出土伝承地	上牧	古墳	弥生・中期			
132	チチブ第2号墳	上牧	古墳		円墳・直径8m		
133	井戸尻瓦散布地	上牧	散布地	飛鳥		格子目叩き	
134	松里園第4号墳	松里園1丁目	古墳	古墳・後期?	円墳・直径15m、消滅	須恵器	
135	松里園第1号墳	松里園1丁目	古墳	古墳	家形石棺1、消滅		
136	ケシキ山第1号墳	上牧	古墳	古墳	円墳・直径15m		
137	ケシキ山第2号墳	上牧	古墳	古墳	円墳・直径10m		
138	ケシキ山第3号墳	上牧	古墳	古墳	円墳・直径10m		
144	チチブ第1号墳	上牧	古墳	古墳	円墳・直径15m		

※『奈良県遺跡地図』(2010)を一部改変

第2図 調査地及び周辺位置図





第4図 久渡3・4号墳遺構配置図



右側の丘陵が上牧銅鐸出土伝承地（南から）



久渡3号墳第3・第1埋葬施設（西から）



久渡3号墳第1埋葬施設内出土土器（西から）



久渡3号墳第2埋葬施設（東から）



久渡4号墳埋葬施設（北東から）



久渡4号墳埋葬施設内出土土器（東から）



画文带环状乳神兽镜